２０１７年（平成２９年）６月１３日　火曜日

デーリー東北新聞　１５面　掲載

第64回 高校野球 春季東北大会

⚾第４日、最終日⚾

仙台育英頂点

第64回春季東北地区高校野球大会第4日、最終日は11、12日、宮城県石巻市民球場で準決勝、決勝を実施した。青森第3代表の八学光星は、準決勝で東日本国際大昌平（福島第3）を7―0の8回コールドで下し、2年ぶりに決勝進出。仙台育英（宮城第3）との頂上決戦は0―1で惜敗し、11年ぶりの優勝は果たせなかった。仙台育英は4年ぶり12度目の優勝。（金濱千優希、竹高雅人）

光星惜敗 準V

決勝

【評】光星は打線が振るわず、散発の5安打。三回1死一、二塁での併殺や、七回2死一、三塁での凡退など、得点機を生かせずに零封された。

先発向井は6回を被安打2、1四球と好投したが、五回に四球と犠打で2死二塁とされると、味方の失策で1失点。これが決勝点となり、惜しくも敗れた。

八学光星　000000000｜0
仙台育英（宮城）　00001000×｜1

（八）向井、福山―瀬川
（仙）長谷川―渡部

▽捕逸　瀬川（八）
▽試合時間　1時間51分

【八学光星】		打	安	点	振	球
⑥	吉田	4	1	0	1	0
③9	近藤	4	1	0	0	0
⑦	小渕	3	0	0	0	1
⑧	小池	3	0	0	1	1
⑤	馬場	2	0	0	0	1
⑨	花房	3	0	0	2	0
1	福山	0	0	0	0	0
H	塚本	1	0	0	0	0
④	秋山	4	2	0	0	0
②	瀬川	3	1	0	0	0
①	向井	2	0	0	0	0
9	田中	0	0	0	0	0
H	三枝	1	0	0	1	0
3	伊藤	0	0	0	0	0

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
1	0	2	0	7	30	5	0	5	3

【仙台育英】		打	安	点	振	球
⑥	西巻	4	1	0	1	0
⑤	鈴木	2	0	0	0	0
⑦	山田	3	0	0	0	0
⑧	佐川	3	0	0	0	0
⑨	杉山	3	1	0	0	0
②	渡部	1	0	0	0	1
③	前田	2	0	0	1	0
④	斎藤	1	0	0	0	0
H4	馬目	2	0	0	1	0
①	長谷川	3	0	0	0	0

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
3	0	1	1	3	24	2	0	3	1

投手	回	打	安	振	球	失
向井	6	22	2	2	1	1
福山	2	6	0	1	0	0
長谷川	9	34	5	5	3	0

光星・小池智也
「好投手を打ち崩せない打線をレベルアップさせたい。青森県内のいい投手を攻略するためにも、気持ちを切り替えて練習するしかない」

11日、12日の結果

▽準決勝
八学光星7―0東日本国際大昌平
（8回コールド）
仙台育英7―5東北
▽決勝
仙台育英1―0八学光星

焦点

好投向井に援護なく

強豪校を次々倒し、迎えた頂上決戦で、1点に泣いた光星。投手陣の好投を打線が援護できず、散発5安打に沈んだ。仲井宗基監督は「いい投手を打ち崩せないと夏の県大会は勝ち抜けない」と打撃陣のレベルアップを課題に挙げた。

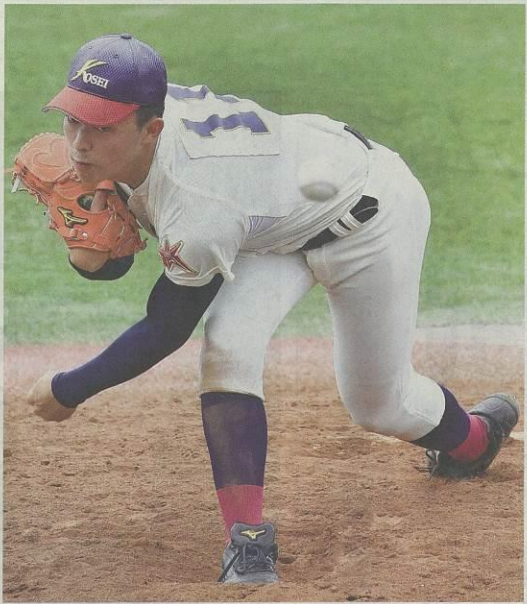
好投手として呼び声高い仙台育英の先発・長谷川拓帆をいかに攻略するかが勝負の鍵だった。しかし、長谷川の変化球を捉え切れず「フルカウントに追い込まれて、つい振ってしまった」（吉田大樹主将）。犠打の失敗や併殺で好機を逸した場面もあり、最後まで本塁を踏めなかった。

唯一の失点は、わずかな守備のほころびから生まれた。五回1死から、四球で出た走者を犠打で送られ、捕逸と送球エラーで1点を許した。「焦りが生まれてしまった」。2年生捕手の瀬川隆佑は一連のプレーを悔やんだ。

先発した向井詩恩は内角を攻める強気な投球で、六回まで相手強力打線をわずか2安打に抑え、実力を存分に発揮した。しかし「投球内容は悪くなかったが、負けたのが現実」と一言。優勝旗を逃した結果に満足できない様子だった。

光星は準決勝こそコールド勝ちしたが、決勝を含む4試合で14得点と伝統の強打は影を潜めた。対照的に4試合でわずか6失点と登板した4投手が活躍し、準優勝の原動力となった。

夏の大会まで残り1カ月。強豪校と戦った今大会で、光星は課題と同時に、大きな収穫を手にした。（金濱千優希）



【決勝・八学光星―仙台育英】６回被安打２と好投した光星の向井詩恩
＝石巻市民

５回２死二塁の場面で、光星は捕逸の間に走塁した二走（右）を三塁で刺そうとするも、送球がそれ本塁生還を許す。左は馬場文冶三塁手

【準決勝・八学光星―東日本国際大昌平】７回光星２死一、三塁、小渕智輝弘が右越え二塁打を放ち、４―０とリードを広げる

後半連打 光星コールド

準決勝

【評】光星は五回2死二塁から吉田の右前打で先制。七回は小渕、小池の連続適時二塁打などで4点を挙げた。八回にも成田、吉田の適時打で加点し、コールド勝ちを決めた。先発成田は8安打を浴びながらも要所を締め、無失点に抑えて完封した。

八学光星　00001042｜7
東日本国際大昌平（福島）　00000000｜0
（8回コールド）

（八）成田―齊藤、瀬川
（東）安齋、滝口―梨本

▽二塁打　小渕、小池、吉田（八）
▽暴投　成田（八）安齋（東）
▽試合時間　2時間2分

値千金の二塁打

○…今大会に入って打点のなかった3番小渕智輝弘に準決勝で待望のタイムリー。「やっと一本が出てほっとした」と、照れるように白い歯をこぼした。

七回2死一、三塁で打順を迎え、次打者の小池智也と「自分たちで点を取ろう」と声を掛け合った。中盤まで苦しめられた相手投手の変化球を見極め、値千金の右越え二塁打で2得点。小池も左翼フェンス直撃の二塁打で続き、そろって勝利に貢献した。

先発成田が完投

○…光星の先発成田太一がチームを勝利に導いた。春季地区大会決勝の工大一戦や県大会準決勝の弘学聖愛戦での敗戦から自信を失っていたが、成田は「積極的に攻めることができた。夏に向けて自信を取り戻せた」と満足げだった。

仲井宗基監督も「気迫がボールに乗り移ったような投球」と、成田の活躍を手放しで喜んだ。

▽準決勝
東北（宮城）　201200000｜5
仙台育英（宮城）　001002004×｜7

（東）葛岡―阿部
（仙）佐川―阿部、尾崎、渡部

▽本塁打　植木（東）杉山（仙）

【八学光星】		打	安	点	振	球
⑥	吉田	3	2	2	0	2
③	近藤	3	1	1	0	0
⑦	小渕	4	1	2	0	0
⑧	小池	3	1	1	0	1
⑤	馬場	4	0	0	0	0
④	秋山	3	1	0	1	1
⑨	田中	3	2	0	0	0
②	齊藤	1	0	0	1	0
H	三枝	1	0	0	0	0
2	瀬川	2	1	0	0	0
①	成田	3	2	1	0	0

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
3	0	2	0	6	30	11	7	2	4

【東日本国際大昌平】		打	安	点	振	球
⑥	高橋	4	2	0	1	0
⑧	鈴木友	2	0	0	1	0
⑨	石井	4	0	0	1	0
⑦	柳葉	4	0	0	0	0
⑤	伊藤	2	0	0	0	2
②	梨本	2	2	0	0	0
③	薄井	3	1	0	1	0
1	滝口	0	0	0	0	0
H	小林	1	0	0	1	0
④	鈴木佑	3	1	0	0	0
①	安齋	2	1	0	0	0
3	大枝	1	1	0	0	0

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
4	1	0	0	10	28	8	0	5	2

投手	回	打	安	振	球	失
成田	8	34	8	5	2	0
安齋	6⅔	30	7	2	4	5
滝口	1⅓	7	4	0	0	2

デーリー東北新聞社提供